

Chapter: 謎解き賢治植物[peco]

ネム マメ科



[click here for larger view.](#)

又三郎たちはさいかち淵の場面で、突然の夕立にあいます。とてもドラマティックな場面です。子供たちは、サイカチの木の下からネムの木の下に逃げこみます。

両方の樹はマメ科なのですが、およそ性格がちがう。こういう植物の使い方は、実際にあったものかどうかわからないけれど、計算されていたりしたら面白いな。いいな、と思います。

Chapter: 謎解き賢治植物[peco]

ススキ イネ科



[click here for larger view.](#)

風の又三郎にちよっとだけ、そっぴきします。ヤナギは北上川周辺のもののような気がします。マツは、アカマツ、クロマツとありますが、アカマツっぽい。これはすべて勘です。それから、わたしの好きなところ。

『風が来ると茫の穂は細い沢山の手を一ぱいのぼして、忙しく振って、「あ、西さん、あ、東さん。あ西さん。あ南さん。あ西さん」なんて云っているようでした。』

ここの描写はいいなあとと思います。西が多いのは夕方だからでしょう。

写真は近所のもの。

[◀ Back](#)

[Entries](#)

[Contents](#)

[Next ▶▶](#)